

令和2年度(2020年度)生涯学習関連事業評価について

■生涯学習プランの進行と管理

プランに掲げる生涯学習施策を推進するには、教育部門だけではなく、福祉、保健、医療、子ども、環境、産業振興など、さまざまな分野の計画・事業実施所管と連携し、学習、啓発、市民協働の取組を行っていく必要があります。本市では、庁内に「生涯学習推進会議」を設置し、全庁的な体制のもとにプランを推進し、本市における生涯学習社会の実現を目指します。

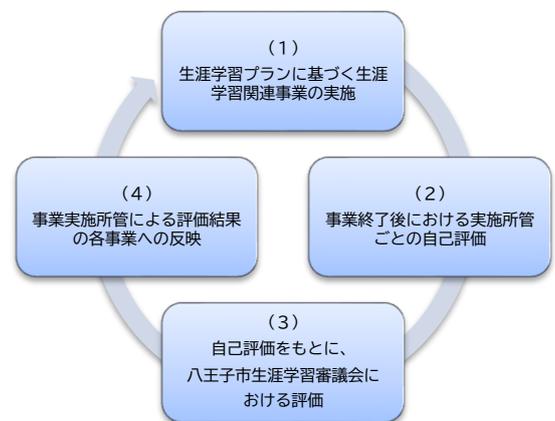
また、市民委員や学識経験者で構成する「生涯学習審議会」を開催し、市民感覚を反映した生涯学習の振興に関する施策の審議、生涯学習に関する施策及び事業の検証と評価を行っています。

■事業の点検と評価

生涯学習関連事業評価は、生涯学習プランの示す「施策の展開」が着実に実現されているかを年度ごとに点検するものであり、全庁の生涯学習関連事業の発展に活用するための見直し・改善のプロセスとして実施します。

また、社会情勢・市民ニーズの変化、国や都の動向に対応しながら、必要に応じて事業の実施内容を見直します。

事業の点検は生涯学習プランに掲載の取組を対象に行います。



■進捗状況をはかる指標

「生涯学習プラン」の推進にあたり、基本施策ごとに次のとおり指標を設定します。この指標を目安として施策の進捗状況をはかります。

基本施策1 誰もが学べる環境づくり ～まなぶ～		
●指標1 生涯学習活動をしている市民の割合	平成30年度(2018年度) 現状値: 52.2%	目標: 毎年度、 前年度を上回る
○生涯学習の充実度をはかる指標です。より多くの市民が具体的な生涯学習活動を行っていることを目標とします。		
基本施策2 学びから広がる地域づくり ～いかす・つながる～		
●指標2 生涯学習活動の成果を地域活動に活かしている市民の割合	平成30年度(2018年度) 現状値: 8.9%	目標: 毎年度、 前年度を上回る
○生涯学習の成果を地域への還元度をはかる指標です。より多くの市民が、学びの成果をまちづくりの中で活かし、地域や社会の中で活動することを目指します。		
基本施策3 学びを支える基盤づくり		
●指標3 SNSを活用した講座・イベント情報を発信し、フェイスブック等の閲覧数	平成30年度(2018年度) 現状値: 22,362件	目標: 毎年度、 前年度を上回る
○生涯学習情報が市民に提供されている状況をはかる指標です。情報発信数とともに閲覧数の増加を目指し、市民の生涯学習活動参加を促します。		

■令和2年度（2020年度）の所管評価の概要

令和2年度(2020年度)は、生涯学習プラン(令和2年度～令和6年度)における5年間の計画期間のうち最初の年度の位置付けとなります。

所管評価

評価	説明	令和2年度 (2020年度)		令和3年度 (2021年度)		令和4年度 (2022年度)		令和5年度 (2023年度)		令和6年度 (2024年度)	
		事業数	比率	事業数	比率	事業数	比率	事業数	比率	事業数	比率
A	目標以上の成果があった	9件	7%	-	-	-	-	-	-	-	-
B	計画・目標どおりに達成できた	40件	31%	-	-	-	-	-	-	-	-
C	計画・目標の一部が達成できなかった	14件	11%	-	-	-	-	-	-	-	-
D	達成できず困難な課題がある	0件	0%	-	-	-	-	-	-	-	-
評価なし	天候による中止等により評価なし	57件	44%	-	-	-	-	-	-	-	-
集計中	担当所管により集計中	9件	7%	-	-	-	-	-	-	-	-
合計(プラン掲載事業)		129件	100%	-	-	-	-	-	-	-	-

■令和2年度（2020年度）の進捗状況をはかる指標

指標1 生涯学習活動をしている市民の割合

	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)
割合	52.2%	57.9%	56.9%	-	-	-
増減		0.057	▲ 0.010	-	-	-

指標2 生涯学習活動の成果を地域活動に活かしている市民の割合

	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)
割合	8.9%	8.6%	7.1%	-	-	-
増減		▲ 0.003	▲ 0.015	-	-	-

指標3 SNSを活用した講座・イベント情報を発信し、フェイスブック等の閲覧数

	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)
閲覧数	22,362	413,504	537,056	-	-	-
増減		391,142	123,552	-	-	-

施策の展開		事業数 (件)	具体的な施策	事業数 (件)
01	子どもの頃から始める生涯の学び	14	001 子どもたちが体験できる機会の充実	5
			002 子どもたちに向けた各種講座・教室の充実	7
			003 青少年の海外交流・都市間交流の実施	2
02	人生100年時代を見据えた多彩な学習機会の充実	21	004 人生を豊かにする多様な講座の提供	3
			005 郷土の歴史や文化財に親しむ	3
			006 文化芸術に触れる	2
			007 読書のまち八王子の推進	7
			008 スポーツ・レクリエーションに親しむ機会の充実	4
			009 社会人の学び直しの支援(リカレント教育)	2
03	共生社会実現に向けた生涯学習の支援	14	010 障害のある人の生涯にわたる多様な学びの支援	6
			011 健康寿命の延伸につながる生涯学習の取組	5
			012 性や国籍にかかわらず社会参画につながる学び	3

■目指す姿

- 子どもたちが家庭の環境によらず、多様な体験活動に参加できている。
- 誰もが、いつでも、どこでも、学べる環境で、生涯にわたり多様な学びに取り組んでいる。
- みんながともに学び、みんなが地域の一員として支えあいながら生涯学習活動に取り組んでいる。

■施策の方向性

- 子どもが大人とともに学びあう機会を充実します。
- 家庭環境によらず、全ての子どもたちが体験活動に参加できるように取り組みます。
- 学びのきっかけづくりや、いつでも学び直せるなど、多様な市民ニーズに対応した学習環境づくりを進めます。
- 共生社会の実現に向けた学習機会を充実します。

■【参考】令和元年度(2019 年度)生涯学習審議会評価(昨年度いただいた評価コメント)
(旧プラン基本施策 1 子ども頃から始める学びの基礎づくり)

乳幼児や親子などを含め、子どもを対象とした講座数は、全事業のうち 20%を占め、多種多様な子どもの学習機会を提供している。子どもの好奇心をかきたてる内容が多く、充実した経験の機会を提供することで、多くの学びに結びつけることができている点が評価できる。

どんな環境におかれた子どもでも、文化芸術にアクセスできることが理想である。そのために学校行事、放課後はもとより、親が働いている休日等にも子どもだけで参加できる体験事業の拡充、またはそれを担う市民団体への補助の充実が望まれる。

「67.75.83.プレママ(パパ)料理教室」など、初めての育児の不安に具体的に応えられる講座の充実、子育て世帯の自信となると共に、将来にわたる食生活の基礎になり、親の健康にとっても見直しの良い機会となる。

子育てが始まると、社会とのつながりを今までと別の視点から意識し始めることになる。そのため、「80.ブックススタート」のように、子育ての始まるタイミングで生涯学習のきっかけを提供し、その大切さを伝えることは、親はもちろん、子どものその後の人生の学びや生きがいにつながる点でとても重要である。また、絵本は子どもだけのものではなく、大人にとっても支えや救いになる認識が広がれば、読書文化の下支えにもなる。

事業内容については、性教育、LGBT、ローンや保険の仕組みなど、時代に合わせた新しいテーマを多様な観点から考えられる講座を積極的に提供してほしい。

「90.八王子『宇宙の学校』」や「92.劇団四季 こころの劇場」のように、他の団体と協働して実施する事業も展開されている一方で、「基本施策1」の事業の過半数は市単独事業となっている。経費を掛けずに事業の実施をしている点は評価できるが、今後、NPO や共催、実行委員会による実施を検討し、より多様な市民が生涯学習の場づくりに参加できる体制となることを期待したい。

■【参考】令和元年度(2019年度)生涯学習審議会評価(昨年度いただいた評価コメント)

(旧プラン基本施策2 誰もがいつでもどこでも学べるしくみづくり)

市民全体を対象にした事業展開となっており、子どもから高齢者、障害者へと学習の機会が提供されている点が評価できる。

「157.八王子市地球温暖化防止活動推進センターにおける講座の実施」、「158.地球温暖化防止普及啓発イベント」のようなタイムリーなテーマを扱う講座を始め、多岐にわたる事業を展開しており、参加者の学習意欲の向上が図られる有意義な学びを提供している。

「2-2読書のまち八王子」は、幅広い世代に向けて多様な事業が展開されている。今後もより多くの市民に図書館を利用してほしい。特に親が率先して子どもと一緒に利用できる環境が大切であり、まず低学年のころから親が子どもと一緒に図書館を利用する習慣をつけるような取組を期待したい。

図書館の利用者を増やすとともに、今後は「読み」の質向上を目指す事業の展開も検討してほしい。いわゆる「深い読み」を身につけることで、人の資質として大事な「共感」や「洞察」などが育まれるため、こうした「読み」の技術向上を積極的に目指す事業の展開を期待する。

誰でも参加できる事業は、特に子どもたちにとっては得難い異年齢の方々との触れ合いの機会にもなる。「245.文化財見て歩き」のような町歩きイベントは、世代間交流が期待できるほか、八王子の文化を実際に歩きながら学べる点で評価できるため、今後も充実を期待したい。

また、「330.勉強お助けサポーター養成講座」は、地域の子どもに対してシニア世代が学習を支援することで、多世代が学びを介して交流できる場となっており、今後の発展を期待したい。誰でも安心して生涯学習に取り組むことができるように、施設・会場のバリアフリーや、緊急時の対応を決めておくなど、イベントや講座の提供を継続可能とする環境の整備も必要である。

■令和2年度(2020年度)生涯学習審議会評価

基本施策2 学びから広がる地域づくり ～いかす・つながる～

生涯学習関連事業 58 件

施策の展開		事業数 (件)	具体的な施策		事業数 (件)
04	学校、家庭、地域で支える子どもの育ち	11	013	地域全体で子どもの育ちを支える	4
			014	学校と地域との連携・協働による生涯学習活動	4
			015	子育て世代がつながるきっかけづくり	3
05	地域を豊かにする学びの還元	18	016	地域での活動のきっかけづくり	5
			017	地域で活躍するボランティアの養成・支援	8
			018	地域の課題解決につながる学びの提供	5
06	学びをいかし、みんながつながる環境の充実	16	019	学習成果の発表と学びの広がり	11
			020	日頃の成果の発揮と学ぶ意欲の醸成	5
07	高校生・大学生等、若者が活躍できる機会の充実	13	021	高校生・大学生等と地域がつながる、地域でいかす	9
			022	若者の社会的自立に向けた、学びによる支援	4

■目指す姿

- 全ての子どもたちの健やかな育ちを地域で支えている。
- 学びが個人にとどまらず、社会や地域での活動に活かされ、人と人との交流が新たな学びにつながり、学習成果が循環している。
- 大学生等が地域で活躍できる機会が充実し、大学生等と地域が高めあって、協働している。

■施策の方向性

- 地域で子どもと子育て家庭を応援できるよう、家庭教育の啓発を図ります。
- 子育てについて悩みがある保護者や、保護者同士、学校の先生との接し方について分からないことを相談する機会をつくります。
- より多くの方が保護者を支援する活動ができるよう、保護者同士や地域をつなぐ人材育成を図ります。
- 市民団体等との協働によるイベントの実施を通じ、市民が学習成果を発表する機会や、地域で活躍できる機会を拡充させ、市民交流を促します。
- 生涯学習を通じて得た知識や経験が、社会や地域での活動に活かされるよう、ボランティアや指導者の育成、イベントの実施を通じて市民のネットワークづくりを支援します。
- 学園都市である本市の強みを活かし、大学・短期大学・高等専門学校と学生、地域の人とのつながりを促します。

■【参考】令和元年度(2019年度)生涯学習審議会評価(昨年度いただいた評価コメント)

(旧プラン基本施策3 学習成果を活かし市民がつながる生涯学習の推進)

「459. スマホ・タブレットとパソコン祭り」は、不慣れなユーザーが現代社会をより便利にする良い取組である。オンラインの世界を知ることで、新たな趣味や学習などに足を踏み入れるきっかけになるだけでなく、新型コロナウイルス感染症の影響で途切れがちな人的交流をつなぎとめることにもつながり、これからもパソコンやスマホ・タブレット講習の充実を期待したい。

生涯学習の大切さ、面白さ、意義を最も強く理解し、体現されている人たちが、「基本施策3」に掲げる事業に、多く参加されているものと考えられる。そうした人たちが、上記の「基本施策1」や「基本施策2」に、運営側として参加することで、新規参加者を「基本施策3」にも関わりを持つことができるのではないかと。市民の学習が「やらせられる学習」にならないよう、市民の自由で主体的な生涯学習に対して市は条件整備を進めていく姿勢が重要である。横断的な工夫を期待したい。

■令和2年度(2020年度)生涯学習審議会評価

施策の展開		事業数 (件)	具体的な施策		事業数 (件)
08	学びのきっかけとなる情報の提供・学びの提供	11	023	学びへの新たな参加を促す取組	1
			024	生涯学習の相談体制の充実	2
			025	生涯学習機会の情報の発信	8
09	生涯学習環境の整備	11	026	生涯学習環境の充実と活動の場の提供	7
			027	誰もが生涯学習へ参加しやすい環境づくり	3
			028	ICTを活用した生涯学習機会の充実	1

■目指す姿

- 生涯学習情報を広報紙・インターネットなどの複数の媒体で、分かりやすく提供し、市民の生涯学習活動の充実につながっている。
- 生涯学習施設が、市民が気軽に集い、つながれる、学びのきっかけづくりの場として機能している。

■施策の方向性

- 生涯学習を始めたい市民、学習をより深めたい市民、サークル活動やボランティア活動など人とのつながりを求める市民が、必要とする生涯学習情報を分かりやすく入手できるよう、情報提供の環境を充実します。
- 市民が気軽に相談できる環境のほか、専門的な質問に対して、適切な案内と助言を行うことができる人材を養成するなど、相談体制を充実します。
- 身近な場所で、生涯学習活動がしやすいように、環境整備を進めます。

■【参考】令和元年度(2019年度)生涯学習審議会評価(昨年度いただいた評価コメント)
(旧プラン基本施策4 生涯学習環境の充実)

533.フリースペース」は生徒や学生が対象となっているが、若い頃に市の施設を利用したという経験が、長い目で見れば、将来的に、例えば30年後に、生涯学習に参加してみようというきっかけにつながるはずである。そういう点で、この事業は何か具体的に学びのプログラムを提供するものではないが、非常に大事にしたい。

現在の状況や昨今の情報収集方法の変化などを鑑み、「518.SNSによる『八王子市の生涯学習講座・イベント情報』の発信」は必要な手段と考えられ、継続・発展を期待したい。SNSとの連動は全ての事業に必要なと思われる、また重要性も一層増していくと思われる。それにより若年層が生涯学習に馴染んでいくという形を作り上げていくのが一番望ましい。即効性はないが、長い目で見れば効果が出てくる方法であるため、今後も根気強くSNSでの情報発信を継続し充実させてほしい。

重要性が増す情報発信だが、その一方で費用対効果の評価について課題があるように感じている。実際はマンパワー(人件費)がかかっているが、事業の予算としては0と計上されているものについては、評価としても不自然なものになる。

また、情報発信の手段としてSNSの活用が進む一方で、ポスター等の紙媒体の情報発信も、デジタル媒体を利活用していない人々への広報としては依然として重要な手段である。予算を計上し、質の高い情報発信・広報を期待したい。

講座やイベントの様子を、許可を得たうえで録画し、YouTubeにアップしておけば、立派なアーカイブになる。仕事や療養中で会場に行けない人も参加可能となるだけでなく、コロナ禍で会場での集合開催が困難な現状でも参加者増につなげることができる。今後、生涯学習ポータルサイトを作るのであれば、アーカイブズとリンクさせることを検討してほしい。

■令和2年度(2020年度)生涯学習審議会評価

■（【参考】令和元年度(2019 年度) 生涯学習審議会評価（昨年度いただいた評価コメント）

関連事業 533 件のうち 83.1%がA評価またはB評価の高い評価を受けている。また、C評価でも、PDCAを踏まえた上での今後の積極的な取組が期待できる。コロナ禍にあって事業開催そのものが難しい状況だが、いろいろ工夫し、無理のない範囲で事業継続に挑戦してほしい。

新型コロナウイルス感染症の流行が終息しない中で生涯学習活動を継続することは、今後数年に渡り、大きな課題となるだろう。つまり、感染予防対策と並行しながら、いかに生涯学習活動を進めていくのかということが今問われている。コロナや社会変化が大きく生活を変える中で、新しい課題が次々と生じている。今後の課題として各事業実施団体にも精力的にこの問題に取り組んでほしい。

また、新型コロナウイルス感染症の影響で、今後あるいは既に中止が決まっている事業に対して、今度どのように評価するか、ということが大きな課題になる。当初計画していた事業を中止した場合でも、代替の内容を実施して次年度以降につなげられたケースを評価することが重要である。

■令和 2 年度(2020 年度) 生涯学習審議会評価

--